

企業の発展に必要な “人材”

—若手人材の採用と定着への取組み—



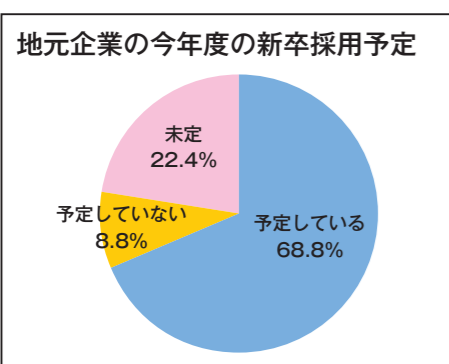
2017年春卒業予定の大学3年生の採用に向けた企業の広報活動が3月1日に解禁され、大学生の就職活動が本格的なスタートを迎えた。人手不足のため企業の採用意欲は依然として高く、学生優位の「売り手市場」が続く見込みの中、経団連による就職活動スケジュールの見直しの影響もあり、地元企業の多くは新卒採用で苦戦を強いられている。

今回の特集では、福井商工会議所が先頃実施した地元企業の新卒採用状況アンケート調査の結果に触れつつ、企業と学生を取り巻く現状に迫った。

■ 昨年のスケジュールが
地元企業に与えた悪影響

■ 今年も多くは地元企業が
新卒採用を予定

昨年末、福井商工会議所では「人材採用に関する実態調査」を行った。従業員20名以上の企業を対象にアンケートを実施し、300社近くより回答を得た。まず「今春の新卒採用活動の実施予定」について尋ねたところ、全体の7割近くが「予定している」と回答した。景気回復に

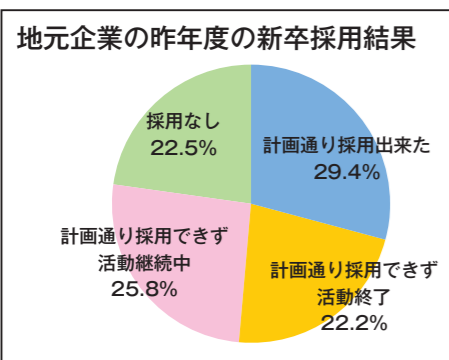


グラフ1 地元企業の今年度の新卒採用予定

よる事業拡大、団塊世代の退職、若年人口の減少など様々な要因が相まって、地元企業でも採用意欲が高いことが見て取れる。

■ 昨年は半数近くが
予定人数を確保できず

次に、「昨年の新卒採用活動の実施結果」について尋ねたところ、「計画通り採用できた」企業は全体の3割弱、「計画通り採用できないまま終了した」「計画通り採用できず活動継続中」と答えた企業がそれぞれ2



グラフ2 地元企業の昨年度の新卒採用結果

スケジュール見直しにより
短期決戦の傾向強まる

■ 新たな課題が露呈した
スケジュール見直し

まずは図1をご覧ください。学生が学業に専念できるように」という大学側からの要望を受け、経団連は昨年スケジュールを見直し、会社説明会の解禁を従来の12月から3月に、面接などの選考活動の解禁を4月から8月に繰り下げた。

ところがふたを開けてみると、学生の就職活動スタート時期は

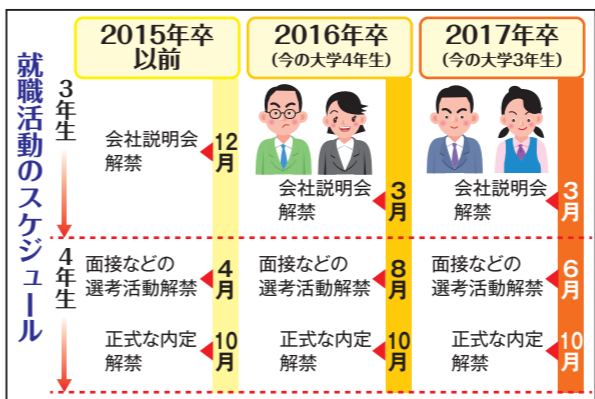


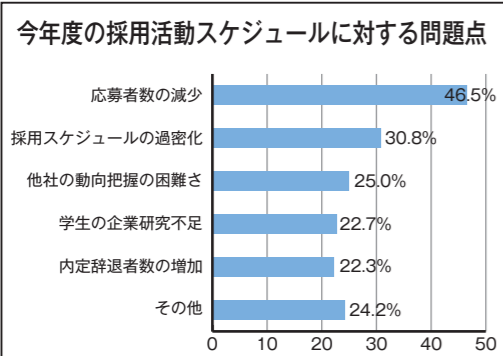
図1 学生の就職活動スケジュールの変遷

割強となった。

採用数を軒並み増やした都市部の大手企業に人材が集中した影響で、地方の中小企業に人材が流れにくくなり、企業からは「例年に比べ応募者が減少した」「内定辞退が増加した」など、例年以上に採用に苦慮した姿が浮かび上がってきた。

■ 今年のスケジュールに
示される懸念の声

今年から就職活動のスケジュールが再度変更となるが、この問題点を尋ねたところ「学生の応募数がさらに減少する」「採用スケジュールが過密



グラフ3 今年度の採用活動スケジュールに対する問題点

大幅に遅れ、大手企業の採用スケジュールが後ろ倒しとなり中小企業での内定辞退が多発、ノウハウ（就活終われハラスメント）という新たな問題も発生し、結果として今までより学生の就職活動期間が長引く結果となってしまう。

■ 再度のスケジュール見直しは
奏功するか

これを受けて経団連は今年度のスケジュールを再度見直し、選考活動解禁を2ヵ月繰り上げた。このスケジュールを見る限り、会社説明会解禁から選考活動解禁までの期間がさらに短縮されることで、学生にとっては昨年以上に短い時間で志望企業を探さねばならず、短期決戦の傾向はより強まるものと考えられる。

この見直しが功を奏するかについては、疑問の声も多い。企業は新たなスケジュールに対応した採用計画が必要となり、学生はスケジュール変更により振り回されそうだ。

化する」「企業研究不足の学生が増える」といった意見が多数挙げられた。

中小企業が採用活動にかけられる人的・経済的資源には限定的な制約が重なることになり、今から戦々恐々といったところであろう。

果して中小企業においては、どんな手法が効果的な採用といえるのか。続いては、新卒採用に取り組む企業の事例について紹介する。

会社一丸となって
新卒採用活動に取り組む
井上商事(株)

■ チャレンジ精神と
コミュニケーション能力

福井市に本社を置く井上商事(株)。昭和22年創業の同社はアルミ外装建材の製造・販売、石油・ガスの卸売、建築資材の販売・施工、サービスステーションの運営を手掛ける地元企業である。同社では近年、毎年新卒採用を実施している。

採用の際、学生に求めるポイントについて「チャレンジ精神、コミュニケーション能力があるかを見ています」と話すのは、同社で採用を担当する尾崎総務課長。

「世の中の変化は早く、今の事業が今後何十年と続く保証はありません。新しいことに自ら取り組もうとする姿勢が仕事では大事です。また、表面に現れにくいお客様の秘めたニーズを掘り下げ形にするには、コミュニケーション能力が不可欠です。グループディスカッションでは、これ以外に情報共有力・協調性・リーダーシップの有無をチェックします」と説明する。

■学生との出会いの場を

少しでも増やす努力

就職活動スケジュール見直しの影響は同社も例外ではない。一人でも多くの学生に興味を示してもらうため、例年に比べ会社説明会の開催回数を増やした。また、それまで二日間で実施していたインターンシップを半日

程度に見直し、会社説明会と一次選考をセットにして実施するなど、学生の時間的負担軽減にも配慮した。

県外学生へのアプローチについては、福井県が主催するUターン就職促進のための業界研究会への参加や、民間大手の人材採用サイトを活用した県内企業での就職を希望する学生へのDM発送を行った。県内では大学との連携を強化し会社見学ツアーを受け入れるなどして学生との出会いの機会を増やした。

尾崎課長と一緒に採用活動を担当する中村さんは入社4年目



採用活動を担当する井上商事(株)の尾崎課長(左)と中村さん(右)

で年齢的に学生と近い立場。会社の説明を行う際は、学生が理解しやすい表現や用語を使用し、自分の就職活動の経験談やアドバイスを行うなど、学生へのアプローチをサポートする。

■採用活動は部署の垣根を

越えた全社的取組み

選考が進む過程において、同社では工場見学や働く社員と学生との座談会を実施し、働く上での心配事など率直に聞ける機会を設けている。会社の現場に触れ、働く先輩と話をすることで、入社後のイメージをつかんでもらうとともに、ミスマッチによる早期離職を防止するのが狙いである。

こうした現場見学や座談会では社員全員に協力を仰ぐ。「最初こそ余計な仕事が増えるといった反対意見が出ましたが、いざ実施してみると、任された社員は学生への説明に備え改めて仕事について振り返りがなされ、会社に対する想いが強くなります。思わぬ効果でしたが、

採用した学生に対する想いも強くなり、新入社員教育の面においても大きな効果が得られています。当社では採用活動は全社的な取組みとして理解を得られています」と尾崎課長は言う。「せっかく入社しても早期に離職されたのでは、学生さんにとっても当社にとってもメリットはありません。採用人数が少ない中小企業こそ、こうした地道な取り組みが大事なのではないのでしょうか」と語った。

採用時は厳しく、

採用してからは温かく

■就職活動スケジュール変更と

早期離職の関係

就職活動スケジュールの変更は学生にどのような影響を与えているのだろうか。福井県立大学で学生のキャリア教育を担当する中里弘穂教授に話を伺った。中里氏は「今年度のスケジュール見直しによって、学生が企業研究に割く時間はさらに短くなり、中小企業の選考、大

学生と企業のお互いが
納得いく結果となるために

ようになりました」と分析する。

■企業の採用活動について

求めること

就職氷河期の頃、何とか学生を就職に結びつけようと各大学のキャリアセンターでは懇切丁寧な就職支援が行われた。もちろん内定率向上には寄与したが、一方で弊害も出ているという。中里氏は「多数の企業にエントリーすることを推奨し、エントリーシートへの添削や面接練習など型にはまった指導によって、学生自身の主体性が薄れる

環境の下で育ってきた影響でもあるのでしたが、社会に出てからそれまでの環境とのギャップに戸惑うケースも少なくないようです」と語る。

就職氷河期の頃、何とか学生を就職に結びつけようと各大学のキャリアセンターでは懇切丁寧な就職支援が行われた。もちろん内定率向上には寄与したが、一方で弊害も出ているという。中里氏は「多数の企業にエントリーすることを推奨し、エントリーシートへの添削や面接練習など型にはまった指導によっ

て、学生自身の主体性が薄れる



現在の大学生の就職環境に警鐘を鳴らす福井県立大学の中里弘穂教授

さらに「上司が新入社員だった頃の常識は今の若者には通じにくいようです。特性を理解し、たうえで歩み寄ってあげてほしいと思います。そのためにも、特に入社してからは先輩・上司から積極的に声をかけてあげてください。上司や先輩に相談できる雰囲気があれば、多少の困難は乗り越えられると思います」と付け加えた。

卒業研究に費やす時間を確保するために、就職活動は4年生の夏休み明けには大方終わるように、従来のスケジュールに戻るのが学生にとっても企業にとっても最善との指摘もある。

既に幕が開いた今年の採用活動。企業と学生お互いが納得いく就職・採用となるよう、県内企業の皆様には、学生との溝を少しでも埋められるような中小企業ならではの情報発信に努めていただきたい。

■若者の特性の変化と

手厚すぎる就職支援の弊害

若者自身の特性の変化についても「自分本位な学生が多く、ストレスに対する耐性も低いように感じます。ゆとりある生活